

第9回フットボールカンファレンス 報告 サマリー

※アセスメント A コース参加者より 78%回収

参加者

ライセンス	コース				合計
	A	B	C	D	
S級	63	7	5	3	78
A級	179	17	45	21	262
B級	220	24	73	19	336
C級	239	32	165	63	499
D級	1	1	5	2	9
受講者総計	702	81	293	108	1184
海外ゲスト	30				30
関係者等	52				52
スタッフ	245				245
総合計	1029			482	1,511

※東京開催ということで、宿泊なく通える範囲の人が多くを想定し、また本会場が少し小さ目であったこともあり、初めてサテライト会場を設定。

開催地

便が良いことで、参加しやすい人が多かった。続けて首都圏での開催を期待する声もあるが、地域開催を希望する声もある。第1回 J ヴィレッジ～第4回浦安までは、JFA 主管で関東で実施。第5回より主管募集を行い、大阪、石川、大分、宮城で実施（4地域）。当初予定の数回毎に関東で実施がなかなかできないこともあり、今回東京でJFA 主管にて実施。今回は関東が50%だが、地域開催をするとその地域から通常より多くの参加者があり、地域の指導の活性化、また経済効果も見られ、地域を回る意義は大いにある。主管に興味を示すFAは毎回複数あり。

主管募集を行って地域を周ってFAと共に開催をベースとし、数回に1度の首都圏開催を実施することが望ましいと考える。

サテライト会場

今回は東京であったため初のトライ。参加者のグループとしては、初めての参加、ライセンスや目的意識の高さの面で、本コース参加者のグループとは差が見られた。

コース選択ができたため参加できてよかったという声と、その反面、通常受講と比較した場の差を感じる声もあった。

3日間通しの全体としての発信のストーリーを構成するため、部分参加ではなく通しの参加が最優先されること、集合して他の指導者と意見交換を行うことを重視することの基本は変わらない。

次回どこの都市で行い、どのような会場を使用するかにより、その際に、今回を参考に検討となる。

内容

- 詳細なワールドカップ日本代表の分析報告を期待する人が多かったので、その点には不満が多かった。
- それにも関わらず、有料で受講する全国の指導者の満足度は総じて非常に高かった。
- 最も好評価だったのは、ドイツの報告、そして技術と審判の協調フォーラムであった。他のセッションも、それぞれ好評価の評点やコメントをいただいている。
- また、テーマが良く伝わり、今後の方向性、やるべきことを明確に伝わったという声が多かった。
- テーマを伝えるための全体のプログラム構成に関しても、評価が高かった。
- カンファレンスは海外からのトップレベルのゲストも招へいし、ここでしか聞けない情報、話を聴くことができることについても、満足度や期待度が高い。
- また、ライセンスを越えて一堂に会し、交流、談義をする場としての期待、活用が高い。
- 他のリフレッシュ研修でできることと違ったここでしかできないことを大切にして、今後も構成を考えて行きたい。
- 今回の内容をふまえ、さらに育成の各現場へ、各指導者へ、深めていくことを目指す次回のテーマは重要である。
- 47FAでもカンファレンスが実施していただけたところが増えてきたが、その基調、指針としての役割を果たし続けていくために、JFA 指導者養成最大の研修として、さらに質を高めていくことを目指していく。